

自由民主党福岡市議団

ウクライナ有事以降の物価高騰は、コロナ禍で打撃を受けた市民生活や企業活動が回復に向かう上で大きな足かせとなっています。私たち自由民主党福岡市議団は、子育て世帯や所得の低い世帯、さらには物価高騰の直接的な影響を受けた事業者などに対する市の支援策が、少しでも早く確実に行き渡るように市に働きかけるとともに、支援の対象拡大などの提案を続けてきました。政府・与党に連なる会派として引き続き国に対し、物価高騰への適切な対策と予算措置を求めてまいります。

コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に引き下げられることにより、いよいよマスクを外して生活できる日常が戻ってきます。今後も新たな変異や未知のウイルスの流行に備え、病床・医療体制の確保をはじめ、感染症に強いまちづくりを進める必要があります。

政府の想定を上回る急速な少子化の進行は国家存亡の危機と言わなければなりません。市長が掲げる「少子化対策のロールモデル都市」のビジョンをより具体的な形にするため、積極的な政策提言に取り組みます。

ホームページ <https://jimin-fukuokacity.com/>

公明党福岡市議団

ESDGS からWell-beingへ。困難な時代を生きる私たちは、今まさに変革の時を迎えています。

私たち公明党福岡市議団は、年々減少の一途をたどる出生率や少子化の課題は特に重要と捉え、社会全体で妊娠・出産・育児の育て期に切れ目のない支援を行うことを提言し、令和5年度予算に盛り込みました。

今こそ「子どもを産み育てやすいまち・ふくおか」の実現を目指すことによって、子ども、若者、高齢者など全ての世代が次の時代への希望をつなぐことができます。

誰もが自分らしく生きる希望を持ち、充実感や安心感など、それぞれが幸せを感じることでできる社会を目指すために、新たな価値観や社会の変化にスピード感を持ってチャレンジしてまいります。

ホームページ <https://www.komei-fukuokacity.net/>

日本共産党福岡市議団

岸田政権が進める大軍拡は米軍の戦争に日本を巻き込む危険なものであり、わが党は全力でストップさせるとともに、市長にも反対を求めました。物価高騰から市民生活を守るために、消費税減税などを国に求めることとあわせ、市としても、国民健康保険料・介護保険料の引下げ、学校給食費の無償化、高齢者乗車券の拡充、家庭用ごみ袋の値下げ、非正規の市職員の賃上げ・待遇改善などの特別対策をするように市長に要求しました。

他方で、巨大スポーツイベント・世界水泳選手権福岡大会を電通グループ丸投げで市は推進。費用が当初の2～3倍に膨れ上がっています。わが党はこの問題を追及し、中止を要求。契約内容も経済効果の根拠も黒塗り(下記二次元バーコード参照)、他の自治体で行っているように同社を外すこともしないなど福岡市の電通依存が浮き彫りになりました。

大型開発優先をやめ市民生活応援、気候危機打開、ジェンダー平等の市政へ転換させます。

ホームページ <http://www.jcp-fukuoka.jp/>



自民党新福岡

福岡市は、「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」の実現を目指し、まちづくりに取り組んできた結果、人口は増加し続け、企業の立地や創業が進み、市税収入は令和元年度まで7年連続で過去最高を更新するなど、元気なまち、住みやすいまちとして高く評価されています。

このまちをさらに発展させ、誰もがチャレンジすることができ、心豊かに暮らせるまちとして次世代に引き継いでいくためにも将来を見据えた政策が必要であります。

本市の未来の宝である子ども一人一人が生き生きと、心身ともに健やかに育つまちづくりに取り組まなければなりません。

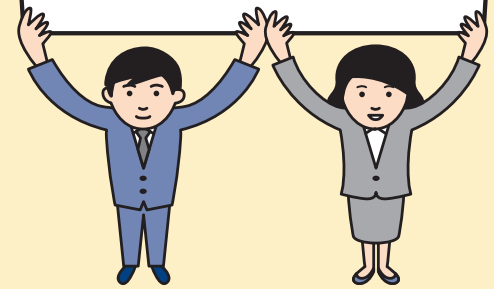
また、子どもを望む人が、安心して生み育てることができるように、経済的な負担軽減策などにもあわせて取り組んでまいります。

私たち「自民党新福岡」は、自分たちが生まれ育ったこの大好きな福岡をもっと良いまちにするために全力で取り組んでまいります。

ホームページ <https://shinfukuoka.com/>

会派の主張

令和5年度予算案や
条例案に対する
各会派の主張です。



福岡市民クラブ

コロナ禍や物価高騰を踏まえた経済対策と合わせ、以下の4分野別に私たちが目指す「福岡市の都市像」の実現に向け政策提案を行いました。

- 生活保障分野：一人ひとりの暮らしと幸せを大切にす社会
 - 成長分野：人と技術の結びつきが新たな価値を生み出す創造都市
 - 地域分野：市民が自ら発言し議論し決定する仕組みづくり
 - 共生分野：一人ひとりの生命と尊厳を守る安心・安全な基盤づくり
- 中でも、教育にかかる保護者の負担軽減、子育てや福祉分野を支える人材確保に向けた環境改善、地場中小企業の事業継続と成長への支援、利活用が進まない放置空き家対策、地域の安心安全な住環境への改善支援、男女平等社会の実現とハラスメント被害者の意識改革、子どもたちの学びを保障する多様な教育機会の確保などを提案。加えて、次期基本計画の策定に、より多くの市民参加の促進を要望。引き続き、働く者・生活者の目線に最も近い会派という自負の下、提案を続けてまいります。

ホームページ <https://fukuokashimin.jp/>

福岡令和会

私たち福岡令和会は、新しい時代を切り開く政策集団です。

真の市民会派として、市民や来訪者の皆さまの声をしっかりと聴きし、少子高齢化時代にあっても発展し続ける福岡市を目指し、活動しています。

会派の基本方針である

- ①行財政改革の推進
- ②子どもたちが夢を描ける街
- ③自然と人に優しい街
- ④文化薫る洗練された街
- ⑤安全で安心して暮らせる街
- ⑥新型コロナウイルス感染症への対応

を軸に、コロナ禍など不確実性の高い時代を乗り越えるべく、是々非々の立場で鋭意努力いたします。

令和5年度がコロナ禍を乗り越え、市民が前向きに日々を暮らせる福岡市となるように、取り組んでまいります。

フェイスブック <https://www.facebook.com/fukuokareiwakai/>

緑の党と市民ネットワークの会

エネルギー価格や食料品価格の高騰が続いており、賃金の底上げと物価対策が急がれています。開発優先政策を改め、地域で循環する経済を進めます。公契約条例制定など市民所得の向上と、学校給食費の無償化や医療費の無償化など子育て支援、国民健康保険や介護保険の負担軽減に取り組みます。また、若者の自立支援や子どもの権利条例の制定に取り組みます。

いま気候危機対策が急がれています。福岡市の2040年ゼロカーボンの実現に向けて、自然エネルギーへの転換、断熱化や効率的利用によるエネルギー消費の削減、原発に頼らないエネルギー政策を進めます。また個人情報保護法が改正され、自治体の関与が弱まり匿名化された個人情報が収益活動に使われるなど、監視社会化と情報漏えいのリスクが高まっており、個人情報保護に取り組みます。緑の党と市民ネットワークの会は地方自治の本旨にのっとり、市民の暮らしの向上と平和な社会をつくってまいります。

ホームページ <http://midoritonet.info/>